

院内がん登録から見える —肝 臓 癌—

広島市立広島市民病院
医療支援センター 診療情報管理室

梅本 礼子

国立がんセンター院内がん登録中級者
国立がんセンター院内がん登録指導者
国立がんセンターがん登録実務者研修専門家パネル委員



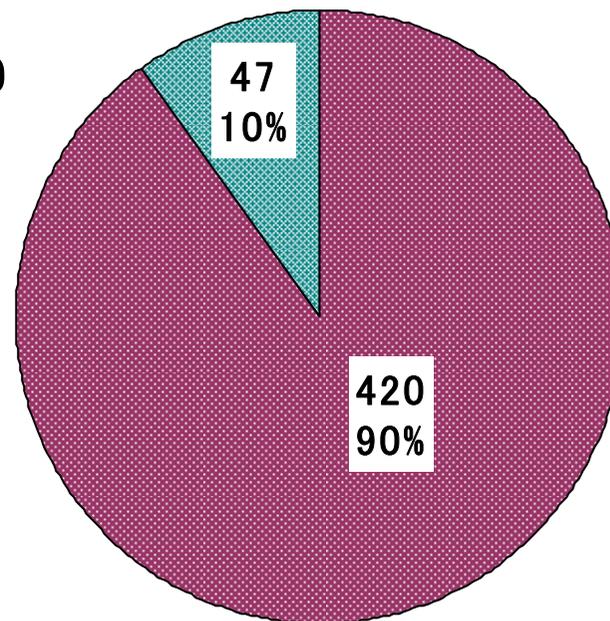
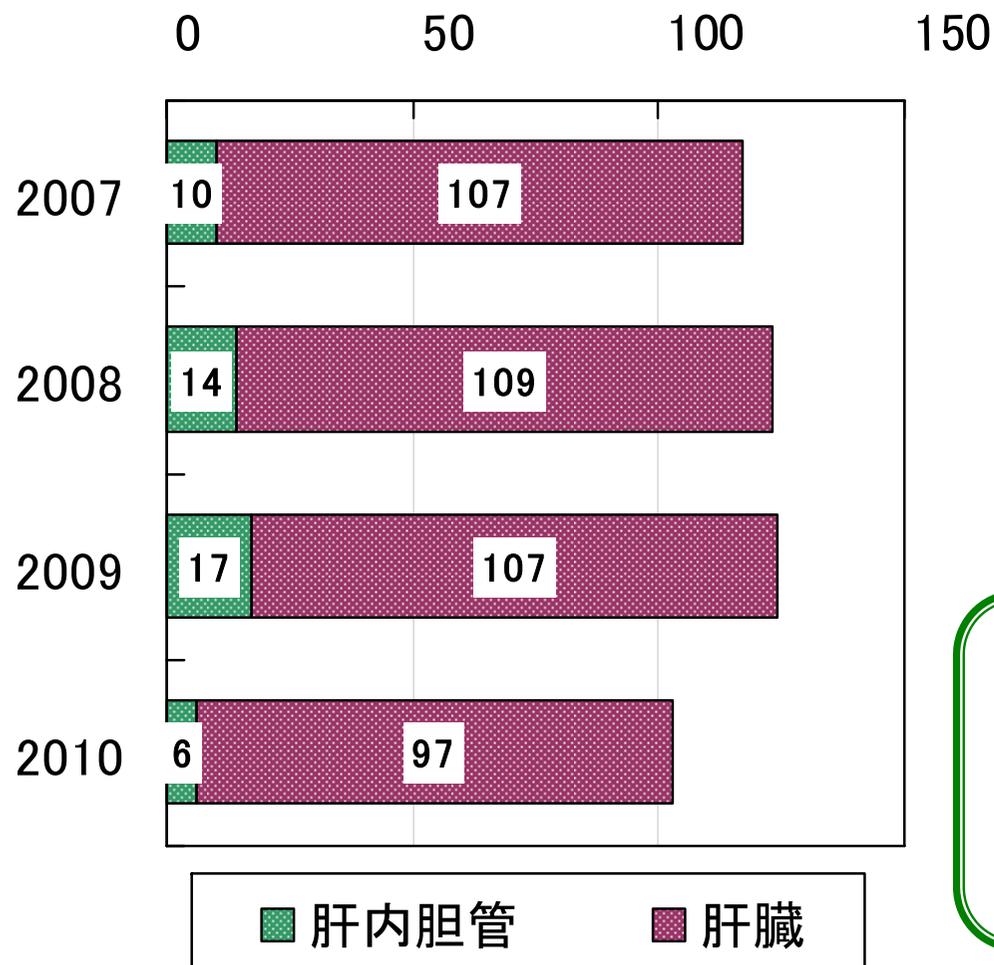
症例区分	生存率を算定する上で対象となる症例範囲を決定する区分 症例区分2: 診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 症例区分3: 他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行がなされた症例。 上記を集計対象とし、算出することとする。
治療前ステージ	UICCの定めるステージング方法に基づき、何らかの治療の行われる以前につけられた病期を指す。 我国の通常臨床現場で使用されるがん取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。 癌腫が分類の対象となっていることから、組織診断名コードをもとに、肉腫やリンパ腫、カルチノイドを除いて集計している。
治療	登録対象となったがんに対する初回治療である。
初回治療	治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療は含まれないことに注意する必要がある。特に当初、経過観察が計画されて病状が悪化したために治療が行われた場合も初回治療はなしとなる。初回治療として計画されていても、他院で施行されたものは登録されず、登録施設で行われた治療のみが登録対象となる。症状緩和的な目的でおこなわれた手術や放射線治療も部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから、登録対象の治療に含まれる。

院内がん登録では
肝癌集計としては
肝細胞癌と
肝内胆管癌を
含んで報告されています。

2007年～2010年

467例

院内がん登録 肝癌 臓器別登録数推移

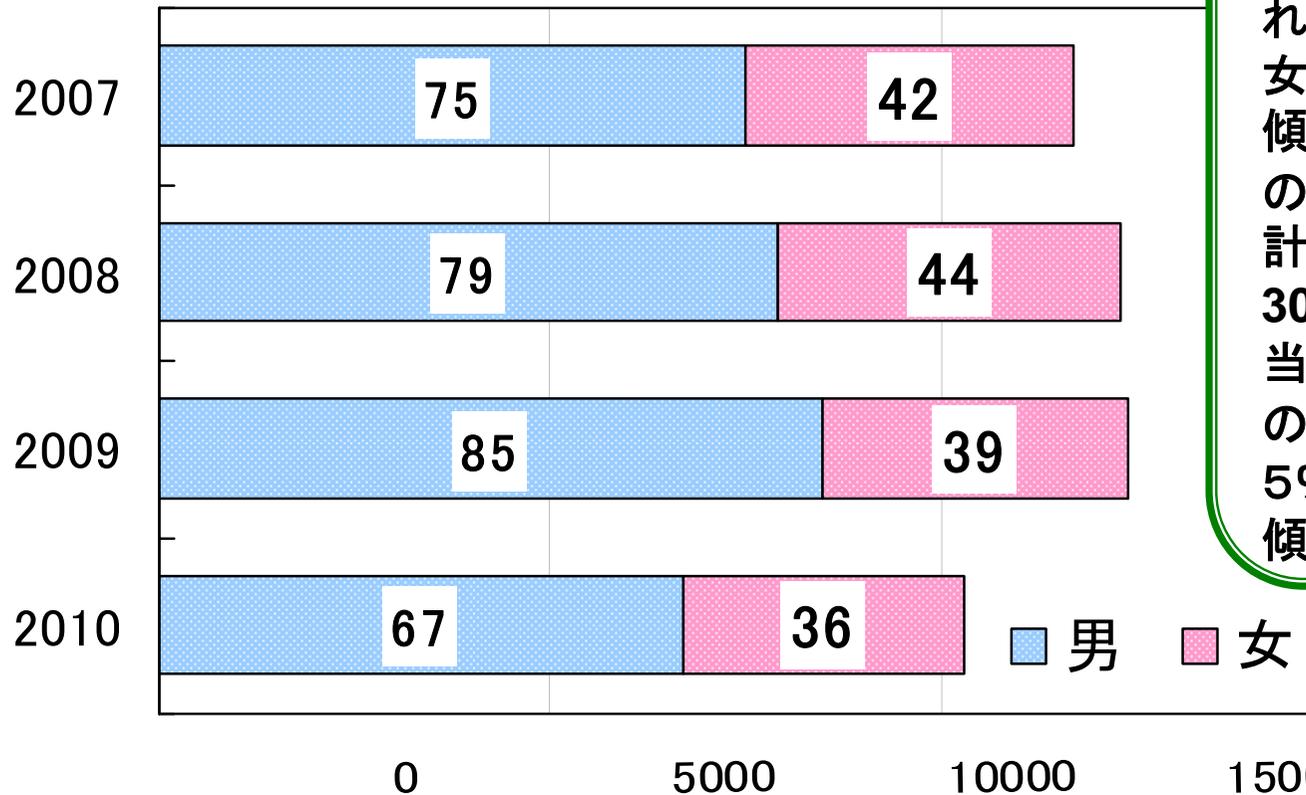


原発性肝癌の95%が肝細胞癌といわれているが、当院では肝内胆管癌の割合が多く見られる。これは閉塞性黄疸などを多く経験しておりその中からの発見率が高いとも考えられる。

院内がん登録 肝臓癌 登録年別性別登録数推移

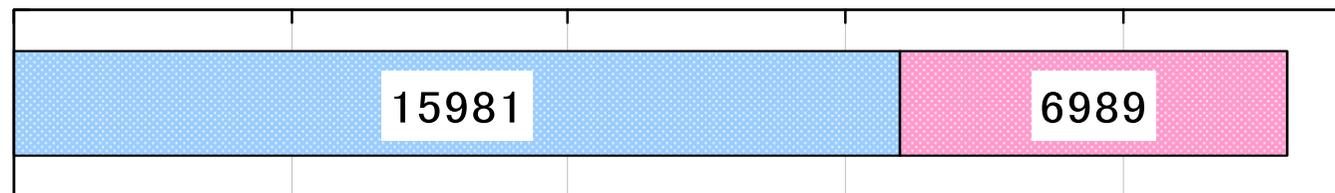
2007年～2010年

467例



肝臓癌は男性に多いとされていたが、最近では女性の罹患率が増加傾向にある。2009年の全国拠点病院の集計結果では70%男性、30%女性である。当院の4年間の症例の推移をみると女性35%・男性65%とその傾向をうかがわせた。

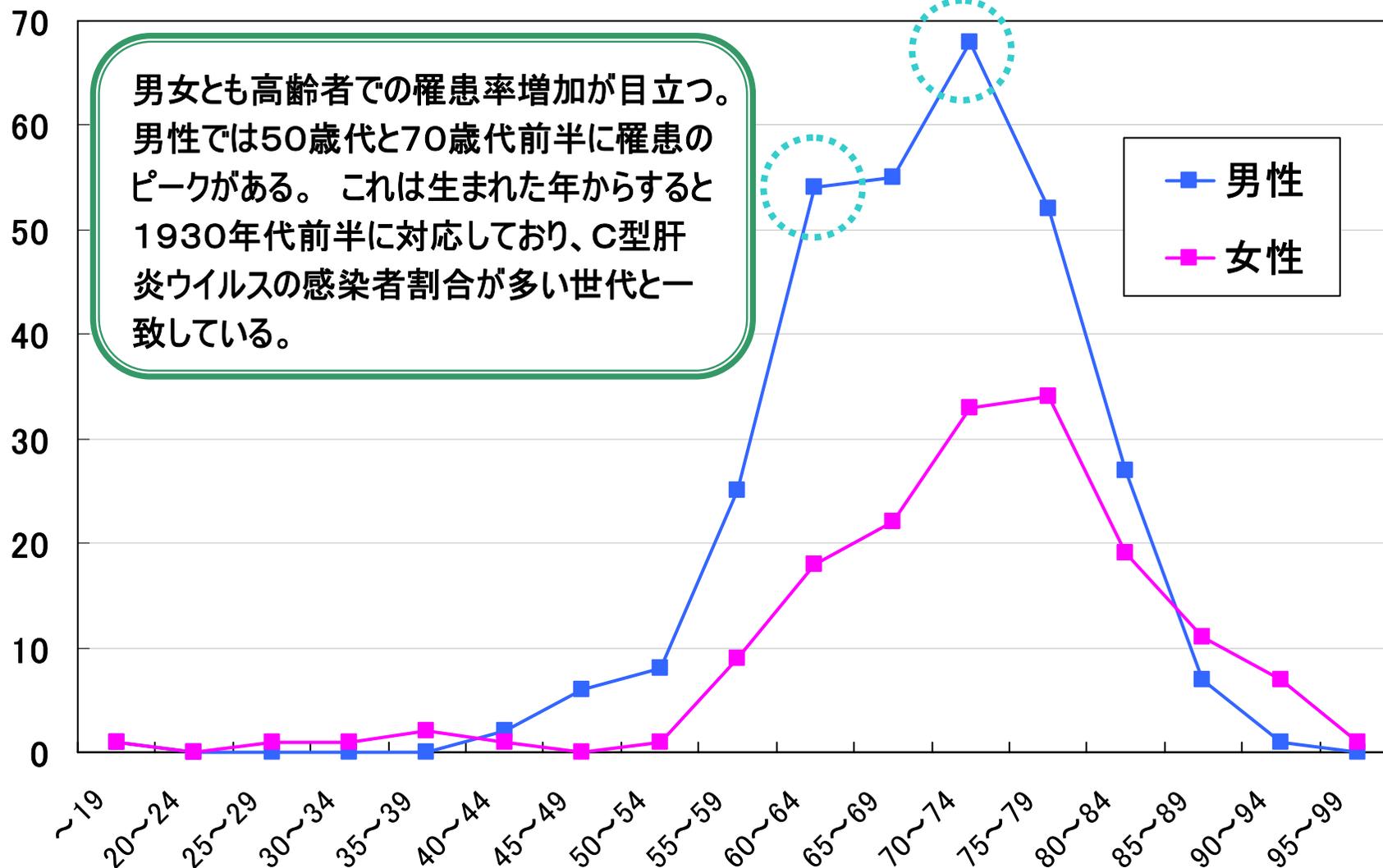
全国拠点病院集計
2009



院内がん登録 肝臓

性別年齢階級別罹患数

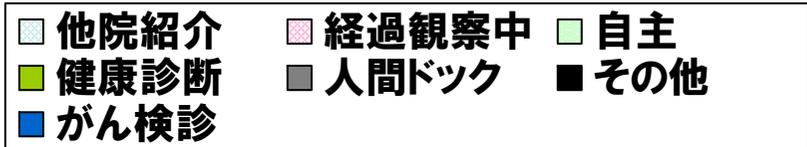
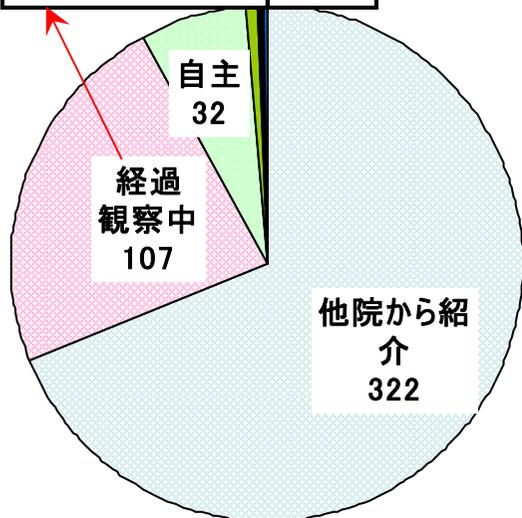
2007年～2010年
467例



来院経路

どのような施設から、経路で
ご紹介いただいているのでしょうか

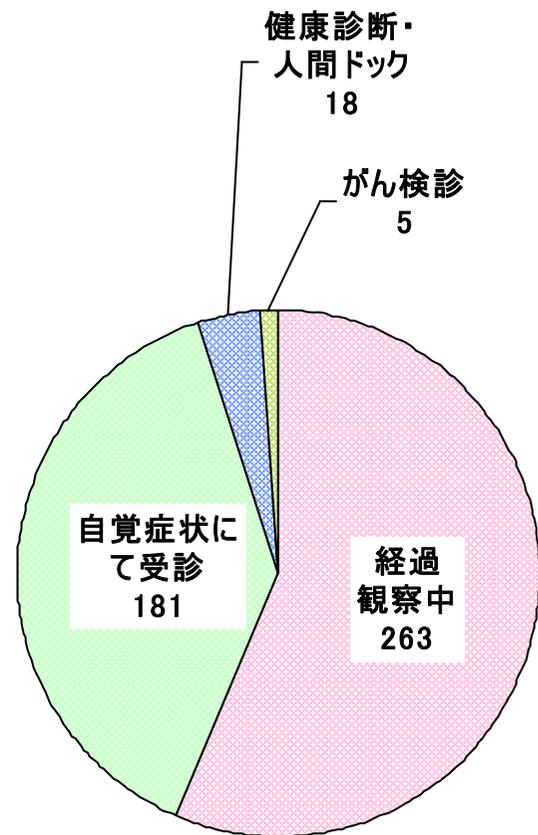
C型肝炎	44
肝硬変	19
B型肝炎	10
肝機能障害	3
他癌精査中	16
他疾患精査中	15



発見経緯

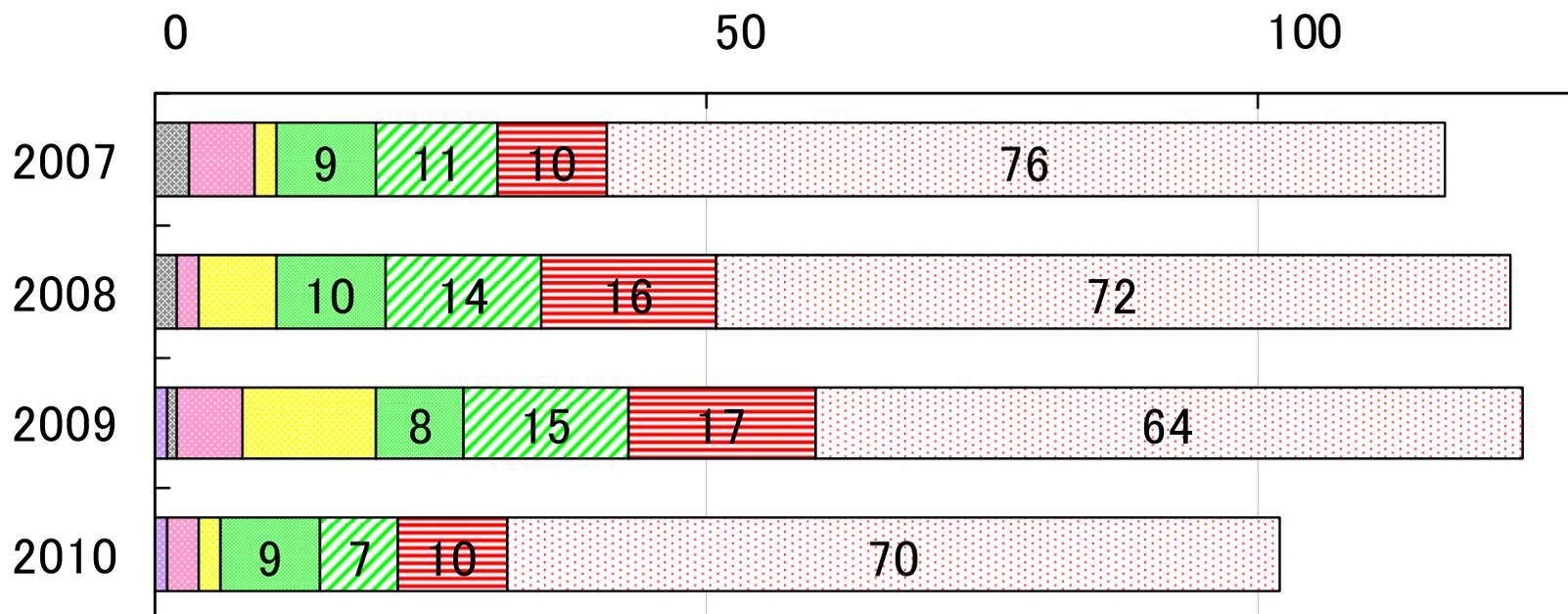
がんはどのようにして発見された
のでしょうか(検診・健診の見極めなど)

他の臓器と異なり、がん検診
や人間ドックで見つけられる
割合が非常に低いことも肝臓
の特徴的傾向であろう。また、
他院からのご紹介の割合、
自院での経過観察中の内容
から推計しても、ウイルス性
肝炎を含む肝疾患のフォ
ロー、スクリーニングが早期
発見に結びついている。肝臓
は沈黙の臓器ともいわれ、自
覚症状があるとかかなり進んだ
病期であることも多い。



院内がん登録 肝癌 症例区分別登録数推移

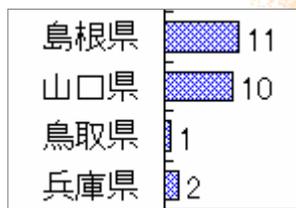
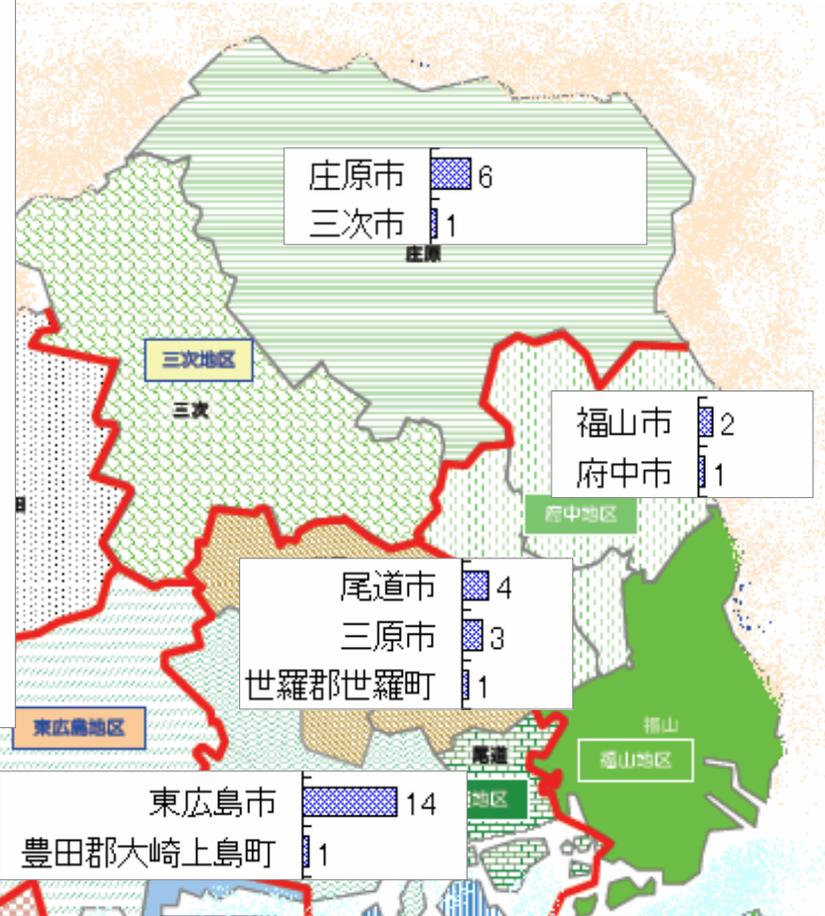
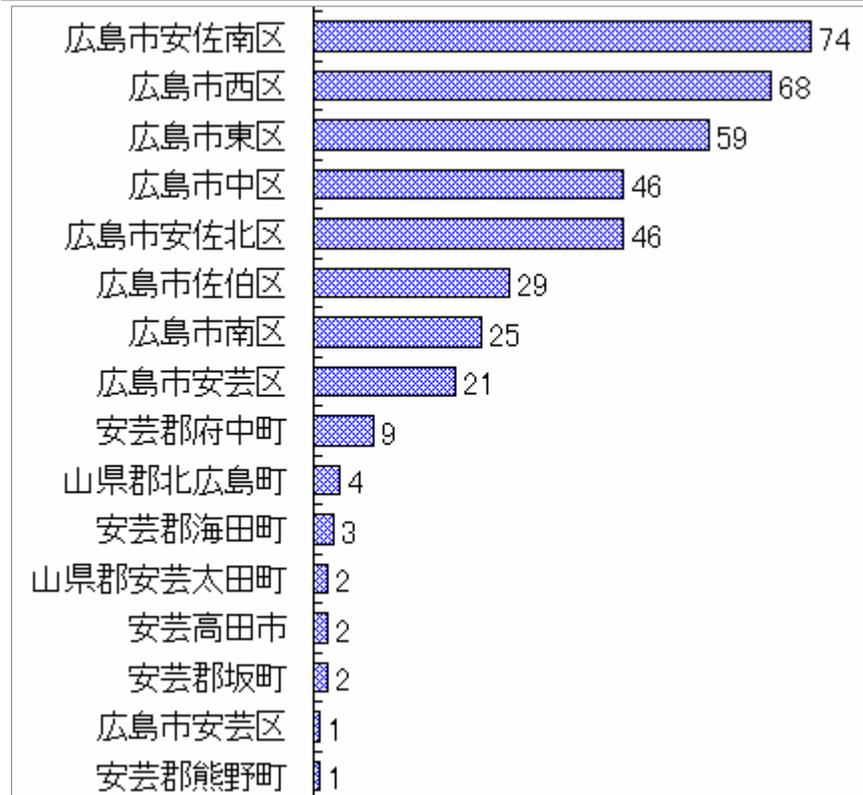
2007年～2010年
467例



- 来院中断
- セカンドオピニオン
- 自施設で経過観察
- 他施設診断ならびに自施設初回治療決定施行
- 他院へ紹介
- 自施設で診断後、他院へ紹介
- 他院初回治療開始後もしくは再発症例
- 診断ならびに自施設初回治療施行

当院で診断・初回治療を行った症例が最も多く、他院での診断、再発症例など当院における診断と肝癌治療が充実していることを伺わせる。診断後他施設へ紹介した症例は、症例の状態・希望によるものである。

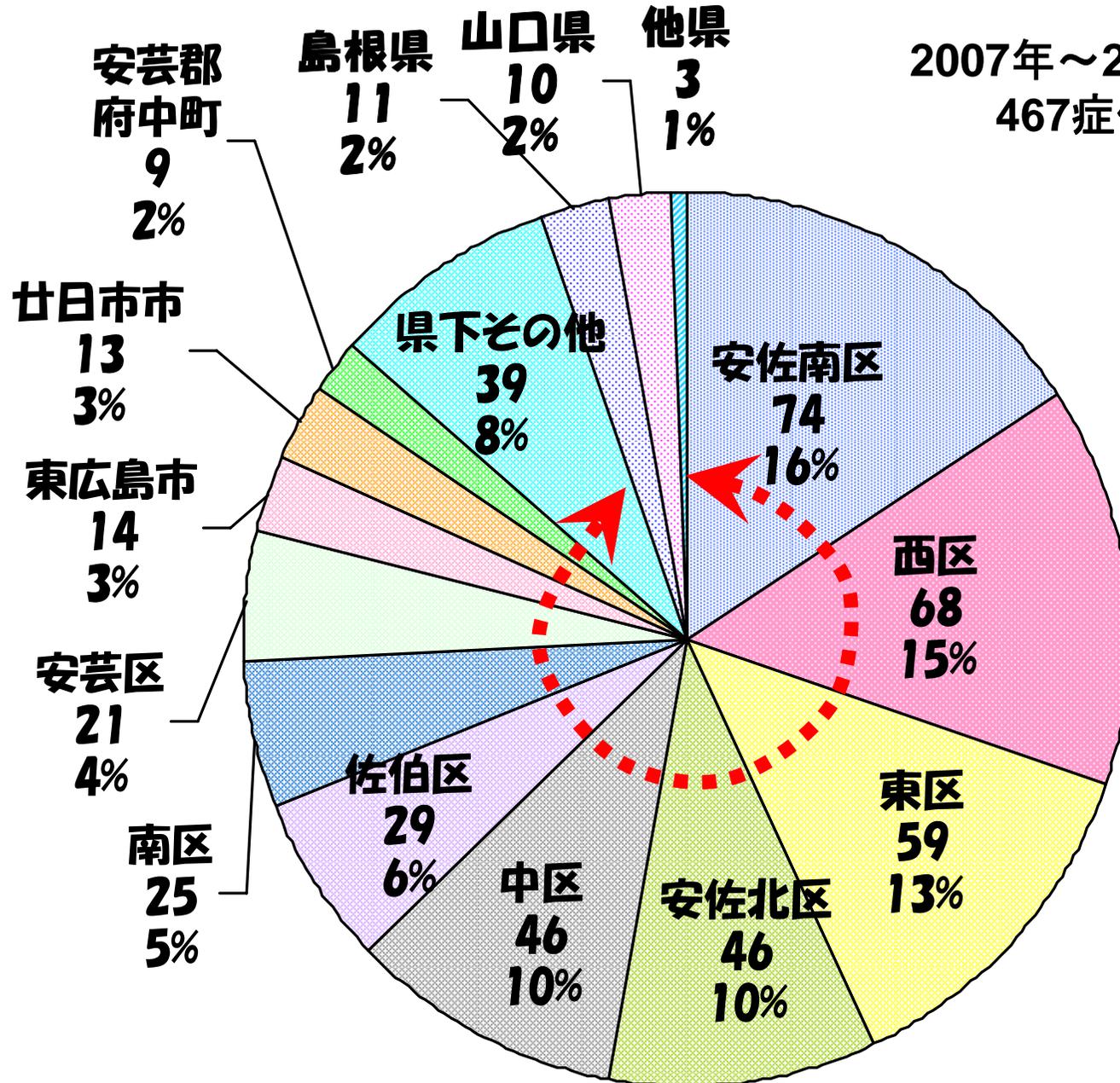
肝癌患者さんの居住地地域別（医療圏別）割合



広島県には7医療圏ありそれぞれに拠点病院が機能しているが、広島医療圏（広島市民病院在）以外からもご紹介いただいている。また隣接する島根県、山口県からのご紹介も多数ある。

肝癌患者さんの居住地域別割合

2007年～2010年
467症例



赤い点線の部分は広島県下を示している。医療圏内の拠点病院の配置、交通機関やアクセス、連携状況を含むと、広島市の人口分布と同傾向がみられる。最も多い地域は、安佐南区であり、西区、東区と続いている。

平成24年3月8日(木)

施設実名入りの情報公開

**国立がん研究センターがん対策情報センターから
院内がん登録「施設別集計結果」が一部公開される**

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 **2009**年全国集計報告」
2011年現在 388施設

WEB付表1-1-1 登録数:施設、部位別、総数

施設名	総数	口腔 咽頭	食道	胃	結腸	直腸	(大腸)	肝臓	胆嚢 胆管	膵臓	喉頭	肺	骨 軟部	皮膚	乳房
全体	487,441	14,004	15,819	60,674	42,750	22,974	65,724	22,970	9,603	14,631	4,305	55,344	2,886	12,920	47,442
北海道															
国立病院機構 北海道がんセンター	2,050	40	27	97	79	61	140	30	14	41	13	380	59	58	368
JA北海道厚生連 旭川厚生病院	1,402	21	43	236	166	67	233	89	33	50	13	156	-	31	102
王子総合病院	796	-	13	112	91	45	136	39	18	22	-	84	0	-	65
砂川市立病院	500	-	14	52	43	24	67	-	-	14	-	61	0	17	35
市立釧路総合病院	902	18	31	94	78	43	121	45	25	22	-	189	-	11	55
市立札幌病院	1,034	29	31	86	80	57	137	36	28	35	-	104	-	31	101
JA北海道厚生連 帯広厚生病院	1,331	18	44	164	94	59	153	58	32	51	12	140	-	48	110
北見赤十字病院	1,148	36	27	121	128	57	185	33	26	43	-	119	-	59	97
市立函館病院	1,128	21	32	137	118	53	171	43	17	35	-	167	-	17	87
日鋼記念病院	590	-	20	67	71	33	104	18	15	16	-	92	0	25	50
函館厚生院 函館五稜郭病院	1,371	24	38	177	185	67	252	47	30	45	-	179	-	-	141
札幌医科大学附属病院	1,935	93	27	86	75	45	120	68	29	70	15	156	37	73	374
JA北海道厚生連札幌厚生病院	1,356	-	17	268	188	110	298	194	37	84	-	95	-	13	72
北海道大学病院	2,802	158	78	170	126	56	182	188	91	113	36	276	17	134	232
手稲溪仁会病院	1,781	32	43	229	200	101	301	102	56	105	13	199	-	19	158
旭川医科大学病院	1,411	34	30	95	84	58	142	82	30	28	25	142	19	49	198
市立旭川病院	871	11	19	116	139	67	206	32	15	43	-	69	-	16	45
労働者健康福祉機構 釧路労災病院	642	23	20	89	97	39	136	27	18	26	-	37	-	20	82
恵佑会札幌病院	1,257	87	250	276	214	121	335	18	-	16	14	78	-	-	24

調査の背景と目的

平成19年4月よりがん対策基本法が施行され、その定める、がん診療の均てん化を推進するために、がん診療連携拠点病院が指定・拡充されてきた。

これらのがん診療連携拠点病院は都道府県および地域におけるがん診療の拠点となり、各種医療機関との有機的な連携を図る役割を持つ共に、院内がん登録の体制の整備を通じて施設の実態を把握し、さらに国レベルでのがん対策の進捗を評価するために、そのデータを国立がんセンターがん対策情報センターに提出することが指定要件として定められている。

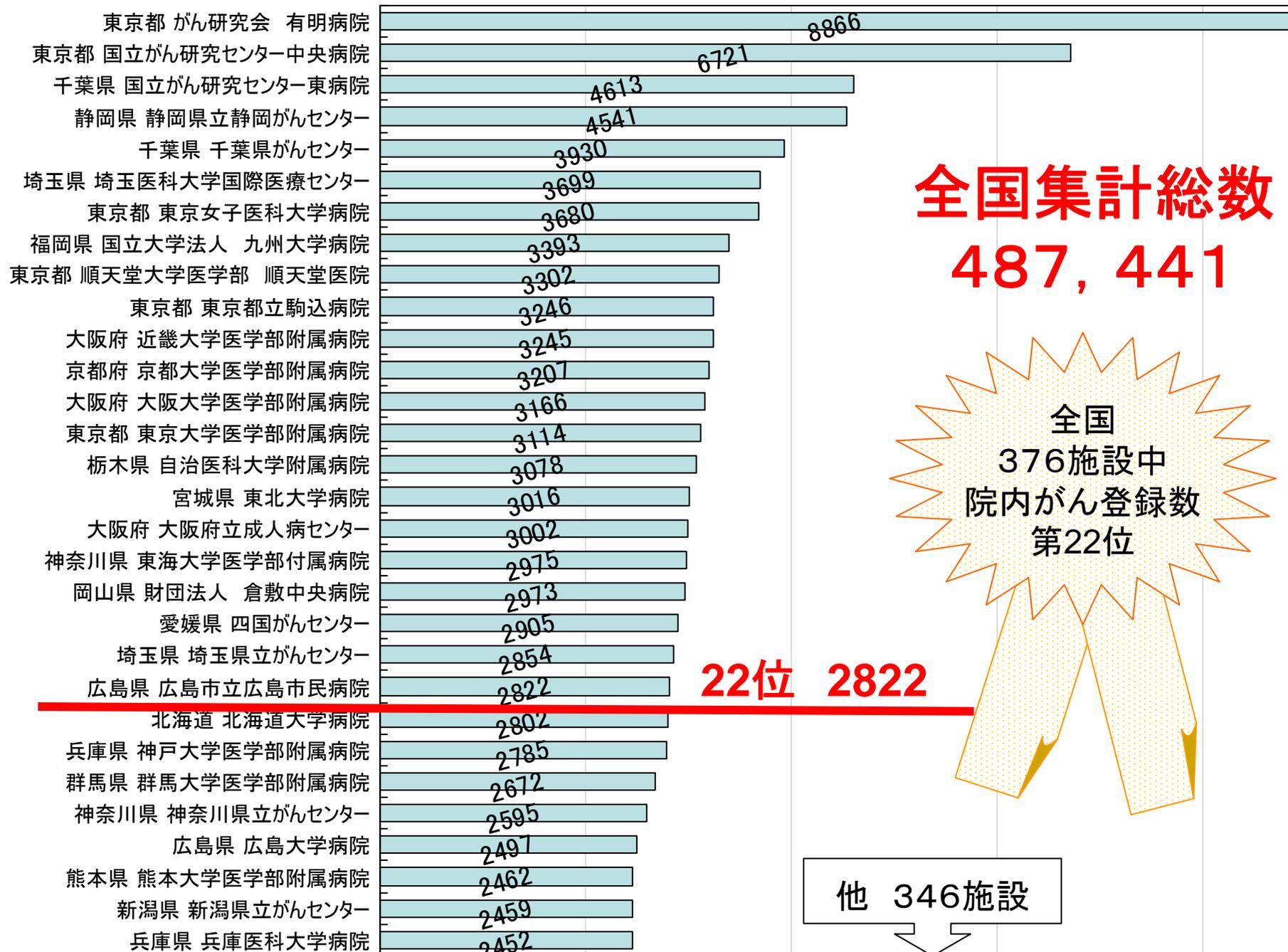
本調査の目的は、全国のがん診療連携拠点病院において実施されている院内がん登録のデータを集計することにより、

①各がん種、進行度、その治療の分布を把握し、国や都道府県のがん対策に役立てる

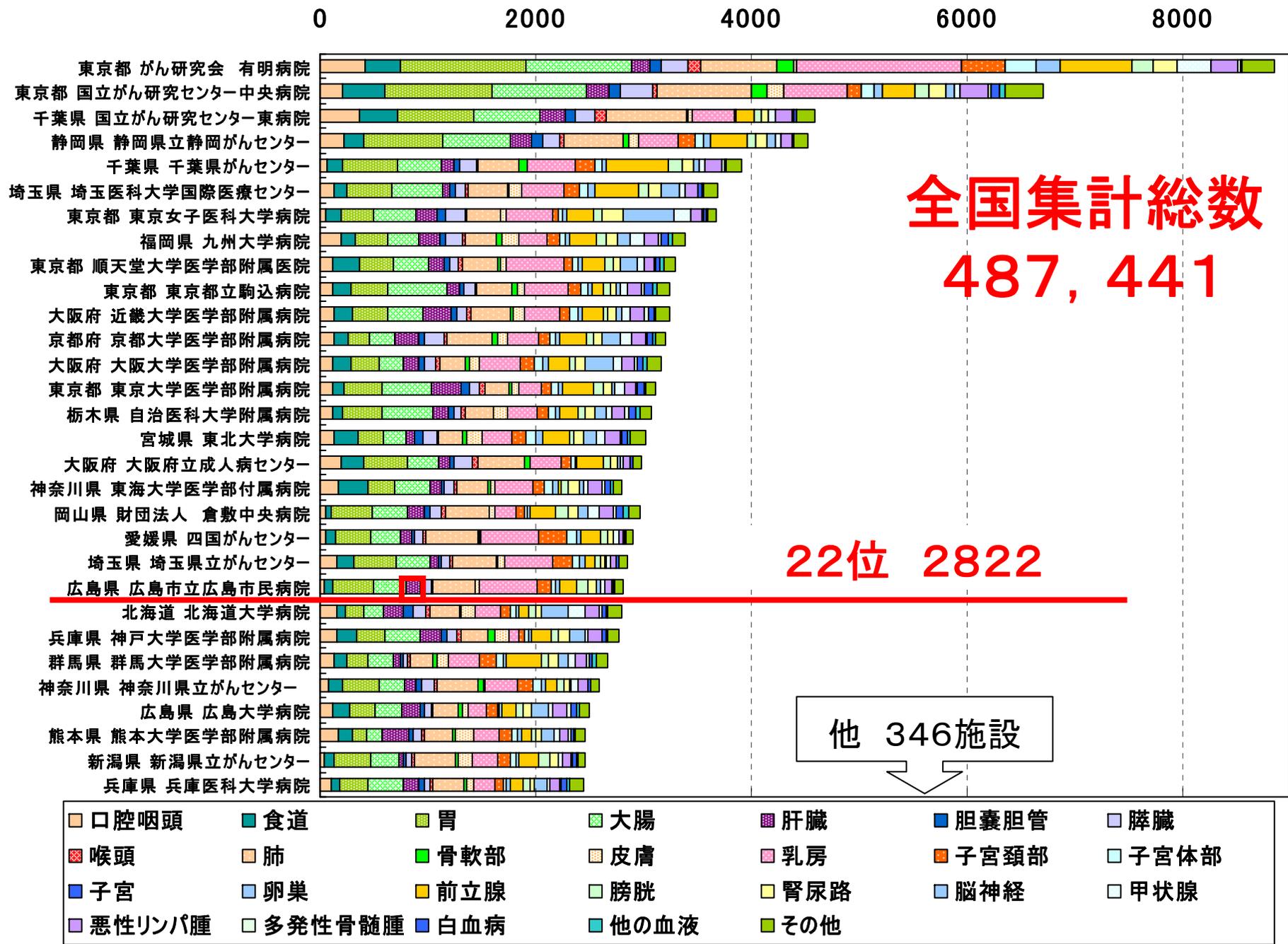
②各施設が全国と比較した自施設のがん診療状況を把握し、がん診療の方向性等を検討する

ための基礎資料を提供することにある。

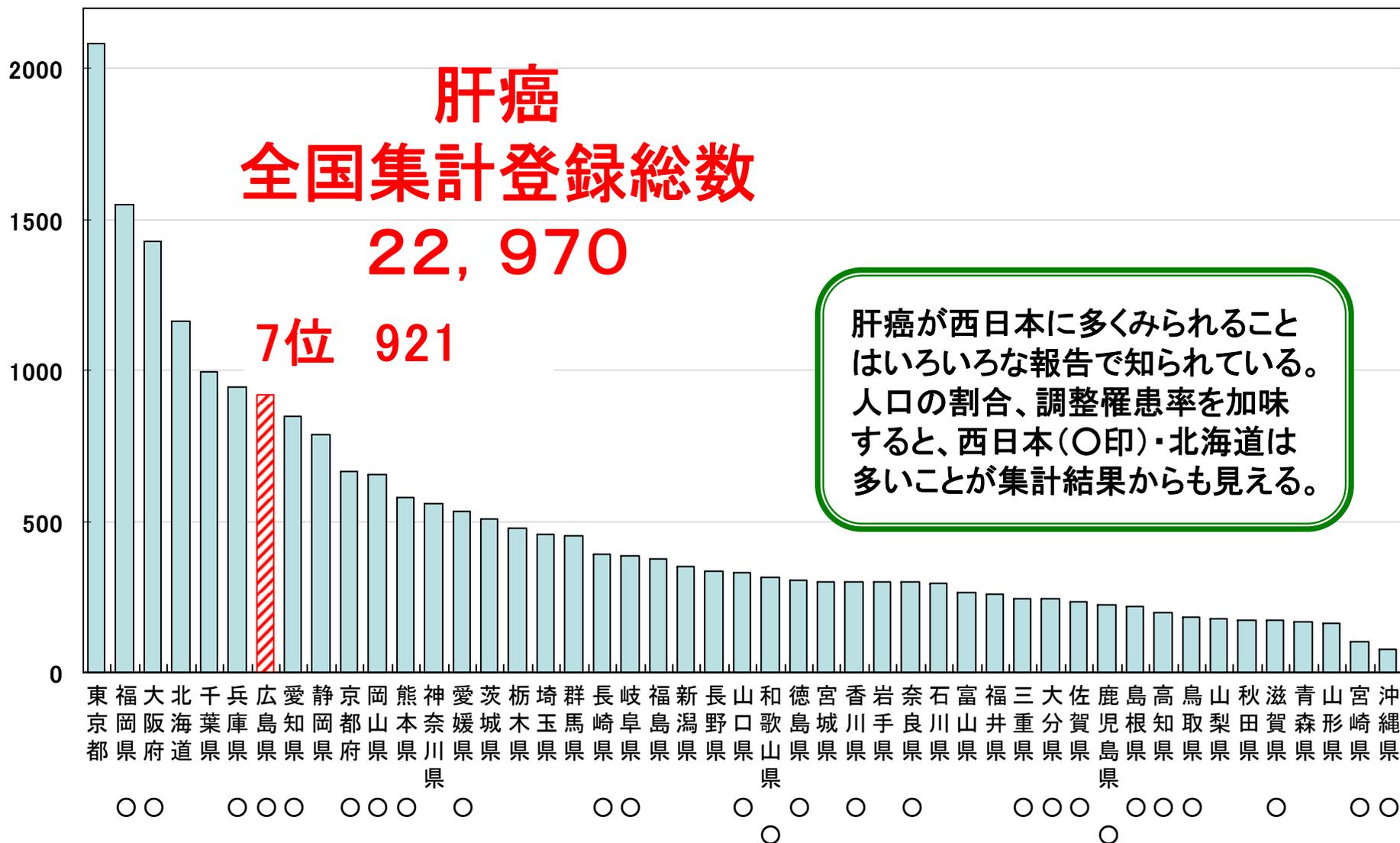
全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2009年集計結果(登録総数)376施設中上位30位



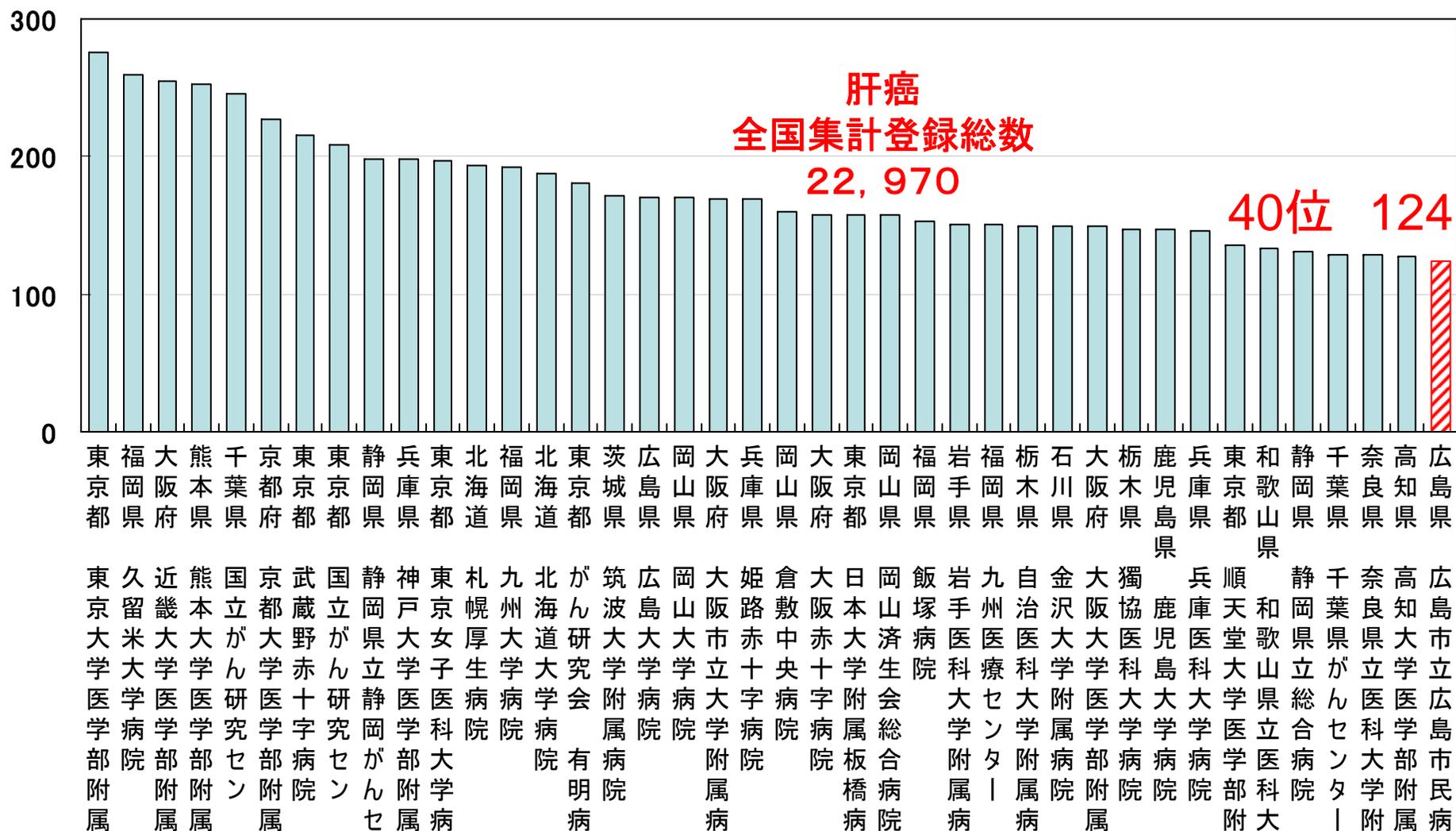
全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2009年集計結果(部位別登録数)376施設中上位30位



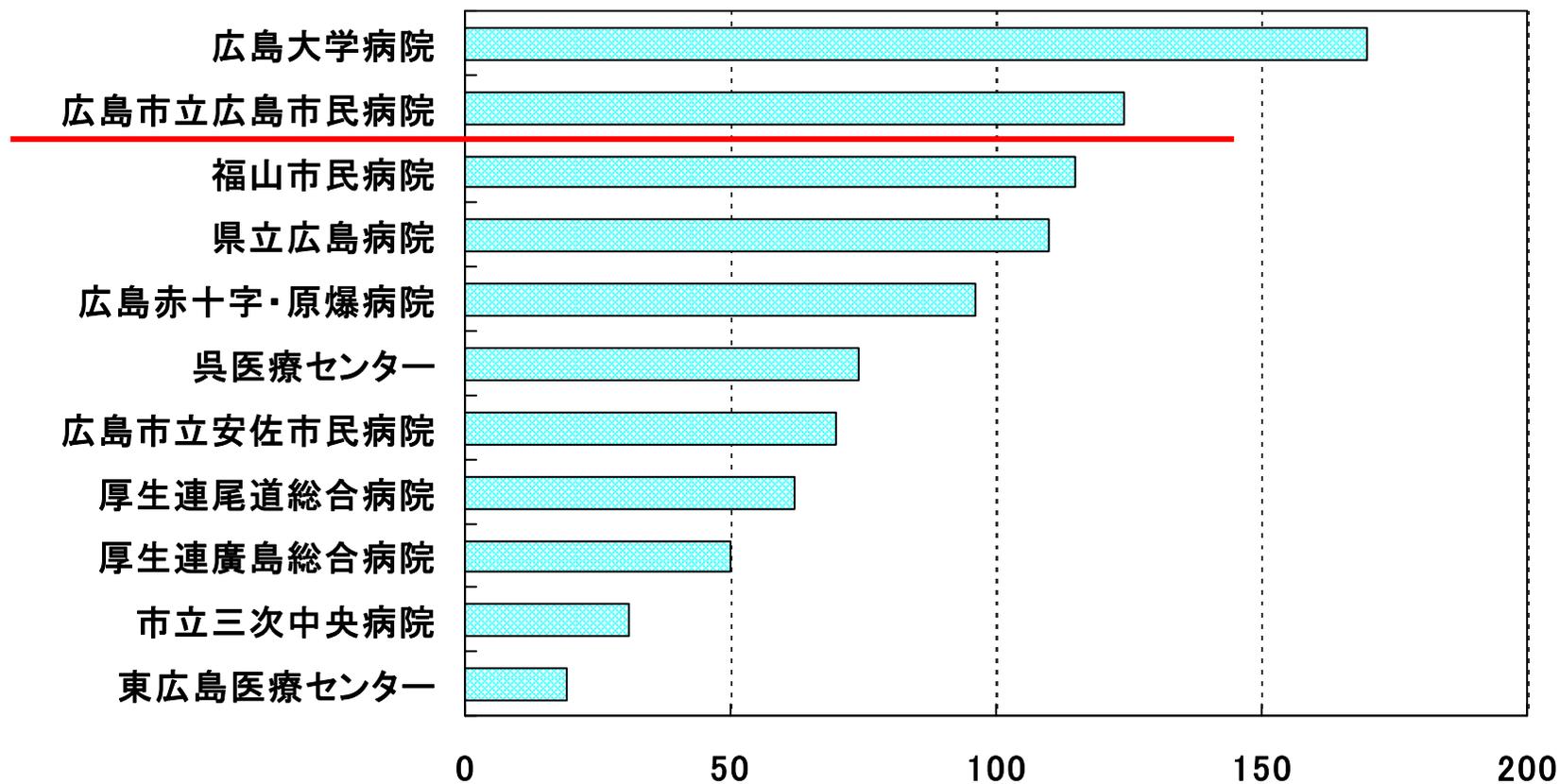
全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」 2009年集計結果（県別肝臓登録数） 47都道府県



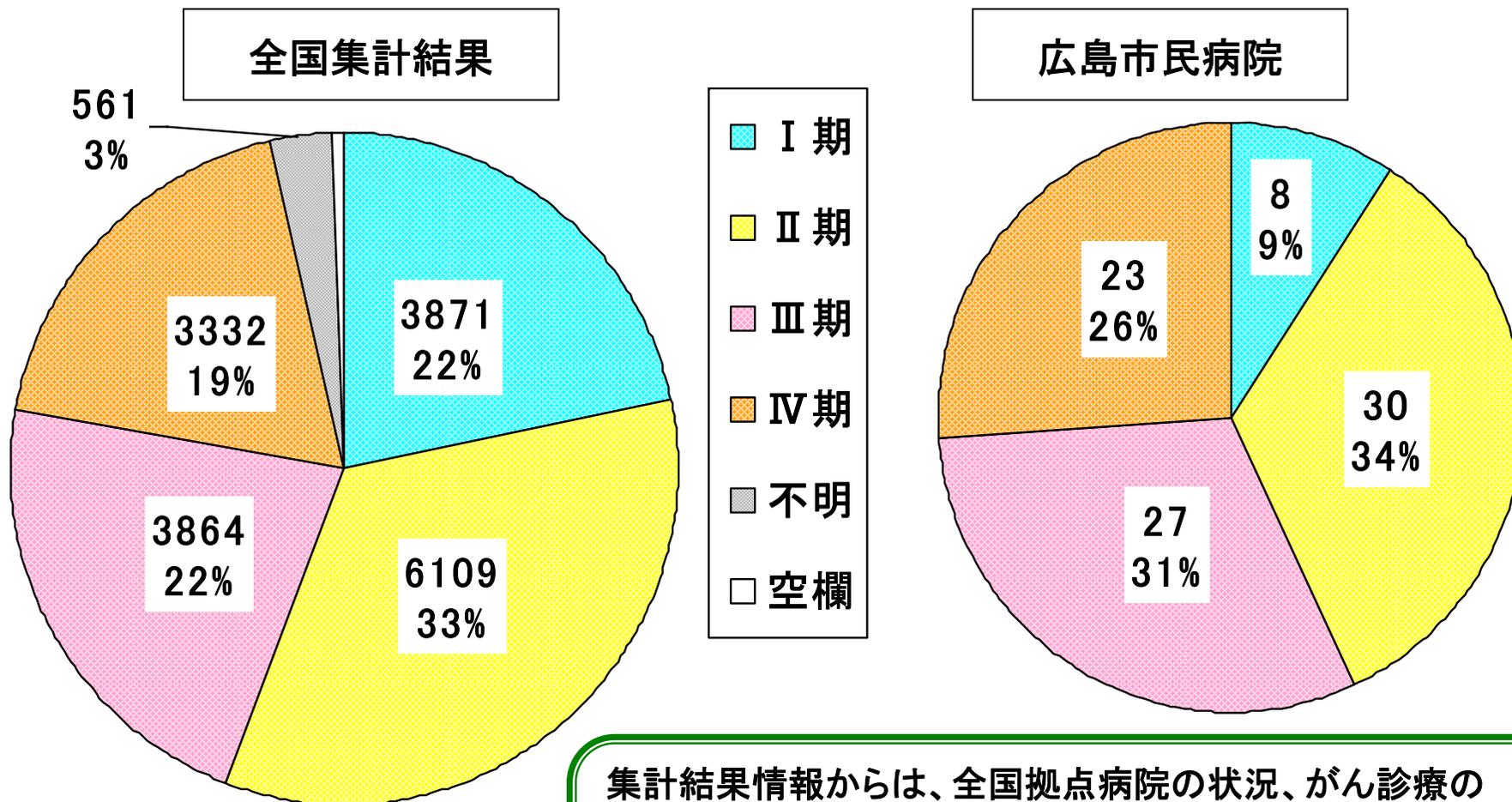
全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」 2009年集計結果（施設別肝癌登録数） 376施設



広島県下がん診療連携拠点病院「院内がん登録」 2009年肝癌登録総数



2009年肝癌自施設初回治療施行症例 ステージ別割合



集計結果情報からは、全国拠点病院の状況、がん診療の有様が見える。初回治療施行症例のステージ(取扱い規約5版による)もその一つである。全国の状況と当院の状況を比較すると、当院ではI期の割合が低く、II期、III期、IV期と進んだ病期の割合が高いといえる。